

Sharing Nature Life

自然に
暮らす

遊んで、
学んで、
楽しんで!

設置店募集!

シェアリングネイチャーライフ

2016 秋 VOL. 14

2016
Nature Game

30th
ANNIVERSARY

ネイチャーゲーム普及30周年

自然が醸す 「黒」

奄美大島の泥色を纏う

<http://www.naturegame.or.jp/>

通巻
もうすぐ 100号

いま
95号
あと
5号



自然に寄りそう 未来につなぐ
公益社団法人
日本シェアリングネイチャー協会

スポーツ庁
BIG

スポーツ振興くじ助成金を受けて
作成しています



島の彩に

魅せられる

奄美大島の泥色を纏う

島に自生するシャリンバイの木を煮出した染料で染めた、赤い糸。それを、粘土を溶かしたような泥の中に浸け、糸に泥を採み込むように染めていくと、魔法のように赤茶に、そして焦げ茶に。糸は、染めをくり返すうちに、あの「大島黒」と呼ばれる漆黒に変わっていきます。鹿兒島から空路で約50分。奄美諸島の

中心をなす奄美大島でつくられる『大島紬』は、縦糸と横糸に縦縞を施し、柄を合わせながら織っていく精緻さと、この泥で染められる「大島黒」が特徴の着物地。一反数千もの値で取引されるものもある、高級反物です。金井工芸は、全行程30といわれるこの大島紬制作のなか、伝統的な泥染めを担

コバルトブルーの海と緑の森、波の白が複雑に入りくむ島。上空から見た雨あがりの奄美大島の輝きに、思わず息をのむ。世界三大織物に数えられる『大島紬』の精緻さとは少ししつこりとこない、島の風景。しかし、そこで自然の息づかいを聞きながら染めるその色はまさしくこの島だけが生む色々と暮らして島人の心に伝え残して



色の錬金術師
【染色家】
金井一人さん
金井志人さん




奄美大島の古代天然染色泥染草木染を担う「金井工芸」を親子二代で支える染色家。旅好き人好きの型破りな父と、音楽を目指した息子が、伝統と今を染める。

インタビュー文/伊東久枝
写真/金井志人・伊東久枝
取材協力/本場奄美大島紬協同組合

自然をまるかじり

No.13

空を見上げて

The Sky and Earth Touched Me



空を見上げると なにが見える？



空を見上げて なにを感じる？



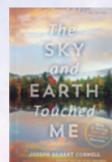
空を見上げて なにを想う？

立ち止まって空を見上げることは
とても簡単にできる
自然とのつながり方。

忙しい日常で見過ぎてしまう
自然の移り変わりや
いまの心の状態を
さらりと伝えてくれる
いい時間。



ほら、空を見上げよう。



米国有数のナチュラリスト、J・コーネルの新刊本『The Sky and Earth Touched Me』日本語版9月末から販売開始。

「シェアリングネイチャー」それは、人が自然を尊重し、共生していく社会のキーワード。公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会は、自然と遊び、自然から学ぶよろこびにあふれた生活をおくる人の輪を広げる活動を行っています。

Sharing Nature Life

シェアリングネイチャーライフ

2016 秋 VOL.14
9月号

contents

特集 ●自然が醸す「黒」	3
イベントレポート	7
被災地復興支援情報	7
News	7
自然が先生！●溶けて消えたら物は、なくなる?!	8
ネイチャーゲームで体験しよう！〈空と大地が私に触れた〉	8
SNLな仲間たち ●栃木県・村本真洋さん	10
プレゼント	10
ジョセフ・コーネルの来日情報	11
四角友里 ●なんにもしないアウトドア	12

日本でのネイチャーゲーム普及30周年

ジョセフ・コーネル あと13日 (9/15時点) 来日まで

事務局は今、ドタバタと…

9月末からスタートするJ・コーネル氏を迎えての30周年記念行事の詳細を詰めています。10/4に東大で行う講演会と10/6に大手町で行う対談はまだ募集中 (P.11参照)。コーネル氏の新刊本と30周年記念誌は9月初旬に入稿し事務局の手を離れて、刷り上がりを待っています。厳しい残暑を乗り切り、30周年記念行事で元気ハツラツな皆さんにお会いするのを楽しみにしています。(佐々木)

う染め場のひとつ。職人歴40年の金井一人さんをはじめ、息子の志人さんほか、6人の職人さんが泥染めと草木染めを行っています。

が充滿する工房で、赤い染め液と豊富な地下水を使って黙々と作業をする職人さんたち。その横に広がるのは、島の土と水が溶けるままに貯められた泥田。庭先には、木々が繁る裏山から流れる風、染上げられた糸やストールがたなびいています。

寧に添えられて出る、染め色なのです。変わらぬ工法 移ろう自然 「千三百年染め方は変わっていません。でも、染めは毎回違います。染めの出来は職人の勘なんです」

シャリンバイも季節によって色の出方が違います。山奥か海岸付近に生えていたかでも異なります。泥に含まれている鉄分の量によっても、色は変わります。それを職人の目と手の感覚で、染め時間や回数を変え、変わらぬ伝統の「大島黒」を生んでいくのです。「身近な植物から色を抽出して糸や布を

シャリンバイのチツプを二日間煮出し、その後三日寝かせ、下染めの染料が生まれる。



きめの細かな奄美大島の泥でなくては、細い絹糸を傷めずに100回もの染めはできない。



奄美の水と土がとけた、泥田。



糸を叩くように、泥を入れる。



1枚の布のように、括られた絹糸の



括りの間に、泥水が入る。



そして、泥水のなかで黒く変色する。



自然がかけた魔法…。

島の土と水が自然のままに溶けた泥田で、赤い糸は「漆黑」に変わる。

染めていく。なんか錬金術のように見えます。と、その魅力を話すのは、金井工芸2代目の志人さん。一時は音楽の世界を目指して東京に出ていた彼が、島に戻り、父親の仕事を手伝いはじめて知ったその感覚。それが、志人さんをどんどん染の世界に引きずり込んでいきました。「自分はいったことをやっていくわけではないんです。植物を煮出した液に布や糸を浸け、泥の中の鉄分で科学反応をさせて…。染めている」というより、自然のエネルギーをもらって「染めさせてもらっている」という感じです」

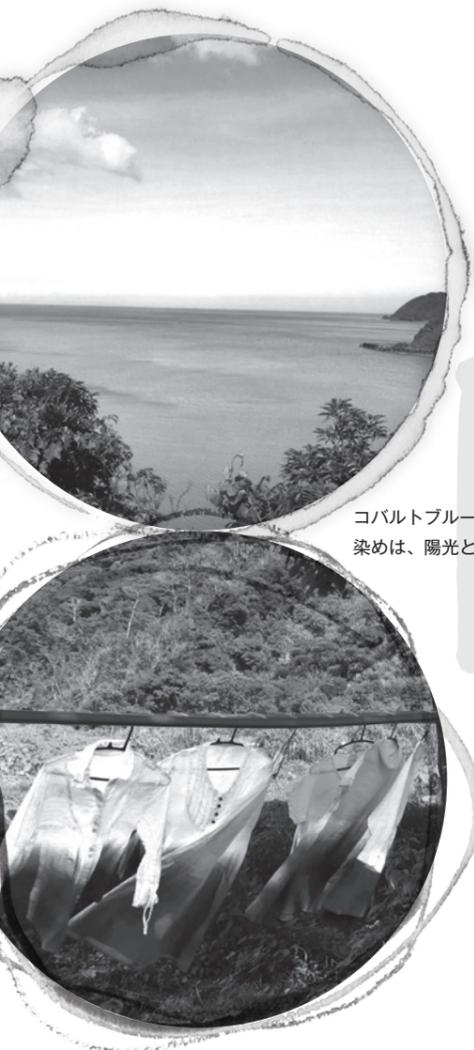
島の生活をしていると、自然の草木で染めるのが当たり前という志人さん。自然を軸とすると、何を頼ったらいのかが明確で、「それがとても楽」なのだといいます。「都会は、人が動くためにできている場

所。自分にとっては、どこかぼつかり孔があいているような感じがしてたんです。でも島は、生活自体も合わせるところが「自然」と決まっています。奄美大島は台風も多く、昔から自然災害が多かったところ。それは一見暮らしにくいように見えますが、島に住んでいると「災害もしかたがないこと」と思えるのだと。災害はたしかに大変です。けれど、それによって自然が循環し、シャリンバイが採れ、水場がたくさんできたのだから…。

考えるようになったと思います」志人さんは現在、フクギやアカネなどの植物を使った草木染めも行い、大島紬の染めのほかにアパレルの仕事も受けています。そして、島の染めをしっかりと継承することで、大島紬の底上げに貢献したいと考えているのだといいます。

時が紡ぐ、風合いを楽しむ

科学技術が発達した現代、化学染料で泥染めや草木染めと同じような色を出すことは可能です。けれど、自然と人が時間をかけて染めあげた色は、布そのものが「自然のまま、変化は「風合い」となって息づいていく。それは劣化ではない、天然色の特徴です。「化学染料は一瞬にして糸の芯まで色が



コバルトブルーの海は台風を生む海でもある。染めは、陽光と裏山から吹く風で仕上げられる。



島人の誇りを支える 暮らしを彩る 奄美大島の泥染め

入ります。ところが草木染めや泥染めは糸の上に色を載せて何度も何度もコーティングをしていくように染めます。そのため、時間がたつと、少しずつ色がはがれて、布の色が染めの浅い色合いに変わっていく。そこに風合いが生まれるんです」と教えてくれたのは一人さん。

50年60年と使い込んでいく程に最初に染めた赤茶色に変化し、味が出てくるのが大島紬。「親子三代に渡って着られる」といわれる大島紬は、おばあちゃんが漆黒で着ていた着物が孫の時代に赤茶になつて、新たな魅力が放つのです。

「草木染めも泥染めも、色の変化がおもしろいの、最近の日本人は風合いが出るまでものを使わなくなっちゃいましたよね。すぐに古ぼけたといつて捨ててしまふ。かと思つと、長年履いてこすれたジーンズが恰好いいといつて、最初からダメージを入れたものをつくる。過程を通り越して形だけをまねするんだよね」

時が紡いだ思いを、受け継がれた思い出を置き去りにした物に、格好よさを生んだ「風合い」はあるのだろうか。一人さんの言葉が心にさざります。

今を生きる 伝統の風

千三百年といわれる奄美大島の泥染めの歴史。けれど実際には、ある程度どころまでしか歴史は辿れず、起源ははっきりしていないと話す志人さん。「ストールや洋服を染めていると、昔の人もこうしてたんじゃなかな...と思うんです。大島紬ももともとは野良着。藍染めのももあつて、着物にシミがついて汚くなったから、ちよつと染めてみようか。とか。昔の人も染めを暮らしのなかで楽しんでいたんじゃないかな」



縦糸と横糸に染め分けられた緋の柄を合わせながら織りあげられる『大島紬』。熟練者でも1日20cmしか織れない、という。

島の染め場には、よく自分の洋服を持って島の人たちが染めに来るといいます。シミが付いてしまったけど、古ぼけてしまったけど、大切な洋服を、ちよつと染めてまた使いたいといつて...。

「緋は着物としての格が低い」という日本のしきたりのなか、高級反物といわれながら『大島紬』は通常結婚式やお茶席などの正装としては着用されません。しかし奄美大島では、成人式の列席者の多くが男女ともに大島紬、茶道の正式な茶

席も大島紬で行われます。「3人の子どもの成人式に、自分で織つた大島紬を仕立てて着せました」と嬉しそうに話してくれたのは、さらに技術を磨きたいと『本場奄美大島紬技術専門学院』に通う島の女性。島の民宿の女将は「着物は着るのが大変だから、古い大島紬を洋服に仕立てて正式な席にはいつもこれを着て行くのよ。軽いでしょ」と、三つ揃いのスーツを2着、ちよつと得意気に見せてくれました。

私のシェアリングネイチャー

染色で人と繋がる時の流れには自然が居る

金井志人

**金井工芸さんより
龍郷柄の手ぬぐいを
プレゼント**

読者アンケートに答えていただいた方の中から抽選で2名の方にプレゼントいたします。詳しくは、本誌P.10をご覧ください。

Report

第26回全国ネイチャーゲーム 研究大会 in 北海道

2016/6/3-5 多々見ゆりか(北海道)

夕張市で行われた研究大会は、150名以上の参加をいただき、アイヌ文化と北海道の豊かな自然を味わう、盛りだくさんの内容になりました。北海道の自然とアイヌ文化にこだわったため、移動は長くなりましたが、楽しくかつ学びの多い会にできたのではないかと思います。大会が終わり道協会は燃え尽きた感じがありませんが、この勢いで新たな活動につなげていきたいです。

Event Report



被災地復興 支援情報

手づくりの虫よけスプレーで 被災地支援!

堺 絵理(大分県)

大分県協会では、自然体験活動時以外にも避難されている方たちにも使っていたらいいと、アロマオイルの虫よけスプレーを作り、熊本県協会へお送りしました。きっかけは地域の会からの発案です。当初の100本がとても好評だったので、追加で900本を作り、一部を継続的な支援の資金つくりのため、大分県内でも販売しています。



アロマの香りがとっても好評です!販売の際にも、多くの方にご協力をいただき、完売しました。

南阿蘇 自然と遊ぶプロジェクト

2016/7/23-24 田中誉人(兵庫県)

7月23(土)24(日)の2日間、「ネイチャーゲーム&ツリーイングで子どもたちを元気にしよう」というプロジェクトが実施されました。現地スタッフが全力で準備をし、当日は南阿蘇村の子どもたちを中心に約180名の参加者と40名ほどのスタッフが結集。各地に避難していた子どもたちも故郷に帰ってきて、会場は笑顔に溢れていました。今後も活動は継続されます。



熊本地震 支援活動

熊本地震の被災者の方々への支援活動へのご協力をお願いします。下記4つの支援活動を展開中です。

- ①活動支援金の募集
 - ②熊本県、大分県協会への支援
 - ③一般ボランティア活動募集
 - ④被災した会員の会費免除と指導員ハンドブックの無償提供
- 詳しい情報は下記ページをご覧ください。
<http://www.naturegame.or.jp/news/002996.html>

夏休み最初の週末! 南阿蘇村は子どもたちの笑顔に溢れていました。

News

風、においを感じて自然とつながる時間を過ごしてみませんか。詳細はHPトップの「News & トピックス」から。
*本誌P.11に関連情報があります。
実施日: 10月16日(日)

全国銘菓お茶っこ広場

東日本大震災の被災地で仮設住宅にお住まいの方々のコミュニティ支援を続けています。あなたの地元銘菓を送ってください!
実施日
●大槌(岩手県): 9/18(日)、10/16(日)、11/20(日)
●雄勝(宮城県): 10/30(日)

※お菓子等の送付先が変更になります。決まり次第HP、ML等でお知らせします。
詳しくは↓ http://www.naturegame.or.jp/about_us/action/ochakko/

熊本地震活動支援金 活用報告

【支援金額】(7月末現在)
1,872,521円
【使途】(7月末現在)
・ 支援物資 232,997円 (くまもとフォーキッズユニフォーム制作費他)
・ 活動交付金 600,000円 (熊本県協会/大分県協会/南阿蘇プロジェクト 各20万円)
・ 事務費 64,033円 (視察費/会費免除案内制作発送料/支援物資送料等)

地域実践団体の設立・解散

- 設立
ふらのネイチャーゲームの会(北海道)、さぬきっ子高松ネイチャーゲームの会(香川県)、くにさき半島七郷ネイチャーゲームの会(大分県)
- 解散
市原ネイチャーゲームの会(千葉県)、いなぎネイチャーゲームの会(東京都)、大和ネイチャーゲームの会(奈良県)、京都精華大学ネイチャーゲーム研究会(京都府)

専門委員会報告

- 指導者養成委員会—5月20日(金)
 - ◆全国研究大会の検討
 - ◆コーディネーター養成・研修の検討
 - ◆講座講師制度変更の検討
 - ◆2015年度指導者養成事業の報告 他
- アクティビティ開発認定委員会—7月13日(水)
 - ◆新ネイチャーゲームの一次審査
- シェアリングネイチャー普及委員会—7月28日(木)
 - ◆シェアリングネイチャー普及賞受賞者の承認
 - ◆普及に関する意見交換

第11回 全国一斉 シェアリングネイチャーの日

今年のテーマは「空を見上げよう」。空の色、音、

日本シェアリングネイチャー協会 理事会・総会報告

平成28年度第1回理事会(5月)と定時総会(6月)が開催され、以下の議案が承認されました。

- 平成27年度事業報告
- 平成27年度決算

正味財産増減計算書 (単位:円)	
科目	27年度
一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	3,496
受取入金金	468,000
受取会費計	35,171,500
公益目的事業収益会計	64,240,742
受取補助金等計	3,527,000
受取負担金	0
受取寄付金	216,554
雑収益計	52,448
経常収益計	103,679,740
(2) 経常費用	
公益目的事業費計	95,650,344
管理費計	7,801,358
経常費用計	103,451,702
当期経常増減額	228,038
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益計	
(2) 経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	228,038
一般正味財産期首残高	61,792,891
一般正味財産期末残高	62,020,929
正味財産期末残高	62,020,929

- 役員等候補者名簿作成委員会次期委員について
- 鳥取県シェアリングネイチャー協会設立



溶けて消えたら物は、なくなる?!

いろいろなものを溶かすのが、水。温泉、ミネラル水、だし汁、ジュース、染料……「溶質」「溶媒」などの難しい話はさておき、生活のなかには、水が溶かしたものが満載!



日置光久 (ひおき みつひさ)・監修
東京大学特任教授。広島大学大学院にて理科教育学、自然体験・メディア論、科学哲学等を学ぶ。広島女子大学助教授、文部科学省教科調査官・視学官等を経て、現職となる。日本シェアリングネイチャー協会理事。

なくなっただと

思いきや

化けて、流れて見えなくなりしは

水の魔法?!

100gの水に10gの塩を溶かしたら…重さはもちろん110g。けれど、溶けたのだから100g?…なんて考える人もじつは少なくありません。そしてこの問題、「質量保存の法則…物質の全質量はどんな化学反応が起きても変わらず保存される」という、化学の基本概念を教えるもの。そう、水に溶けても、物質は決

小学5年生の理科の問題です。

溶質:液体にとけている物質
溶媒:溶質をとかした元の液体

100gの水に10gの塩も溶かすと



正しい答えはどれ?

- ①水に溶けて消えてしまったため100g。
- ②水に溶けたので、水の重さが少し増えて103g。
- ③消えても重さは変わらず、水と塩を足した110g。

イラスト/井上みさお
構成・文/伊東久枝

心で自然とつながる
Nature Game

空と大地が私に触れた (仮称)

何気ない瞬間に自然の真理に触れたような気がして「気づき」を得ることはありませんか? 気づいてしまえば当たり前なことなのに、その体験が深く心に残り、そのあと少し世界を眺める目が変わったような…。身近な自然でそのような体験ができる、コーネル氏おすすめめのネイチャーゲームを「水」を例にして紹介します。

【楽しみ方】

気になる自然を見つけたら、自分とその自然を結びつけるようにイメージします。(左のイラストは水の例: 滝から落ちた水が、私の身体の中に入って流れ…) 目を閉じて、その自然が自分のなかでイキイキと息づいているのを感じましょう。そして、その自然から得た本質的な「気づき」を感じとりします。

最後にその自然をもう一度愛情をもって眺め、心の中で次の言葉をいいます。

「○○(自然の名前)が、私に触れて大切なことを気づかせてくれました!」

*詳しくは、J・コーネル新刊本「The Sky and Earth Touched Me!」本誌P11参照

イラスト/井上みさお

してなくならないのです。水は、じつに多くの物を溶かし、さまざまなものに形を変えて運び、物質を循環させています。森の土壌でつくられた栄養を海へと運び、植物のなかで人体のなかで栄養を届け不要なものを運び出し…。身の回りで、この水の働きを数え上げたらきりがありません。ミネラルウォーターの味の違いもつまりは、その水が生まれた環境で何を溶かし込んだか、ということ。たまたま人体に害のないものだけを適度に溶かしたものを人は、名水として飲用にしましたのです。最近流行の「水素水」も、しかり。そんな水が溶かし込むもので、今注目をされているのが、海水が吸収している二酸化炭素です。この作用のお陰で、地球温暖化の速度はずいぶん緩和やかになっています。しかし一方で、海水がじよじよに酸性化し、貝の殻やサンゴの骨格形成がしづらくなっているという問題が。水に溶けても物質はなくなるらない…。つまりは、そついつことなのです。



水の味がちがう~!

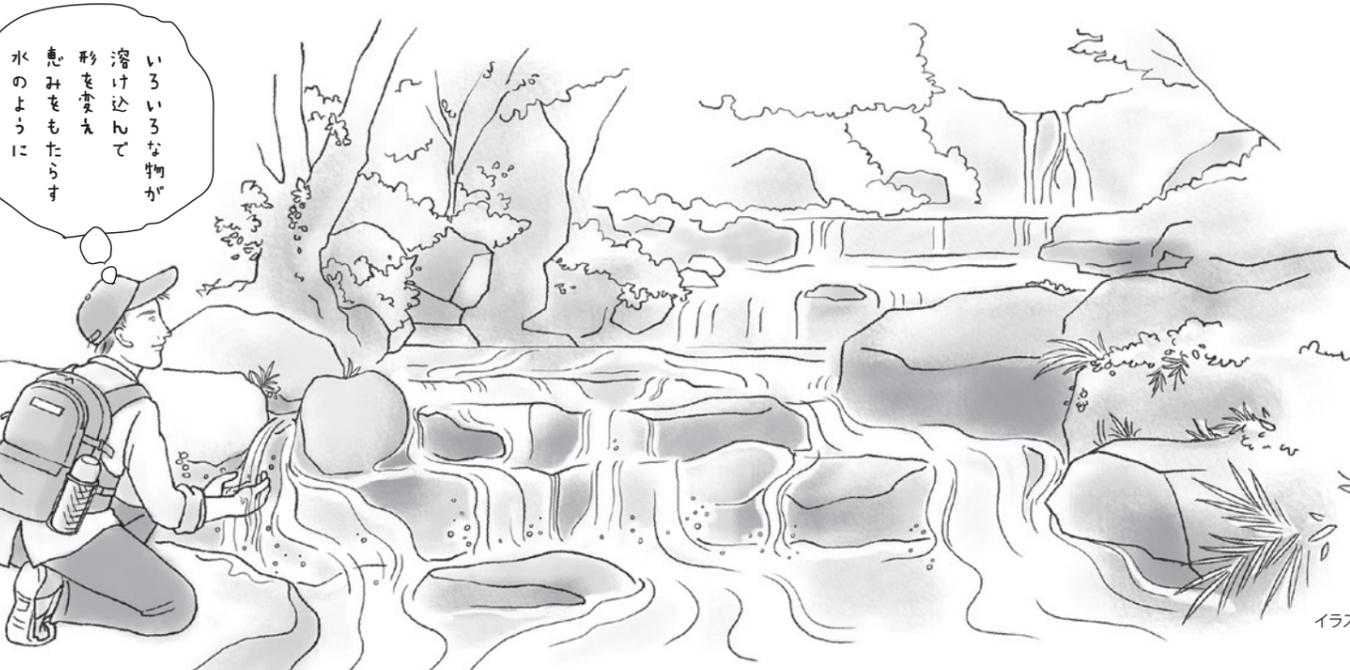
人体に害のない物質が適度に溶けているのが、ミネラルウォーター。



大気中に増えている二酸化炭素を海水が吸収し続けているため、海の水がだいたい酸性になっているというデータが!

ネイチャーゲームとは

1979年に米国のナチュラリスト、ジョセフ・コーネルにより発表された活動です。見る・聞く・触る・かぐなどの感覚をつかっ、自然を楽しむ、自然と仲良くなるためのプログラムです。



いろいろな物が溶け込んで形を変え息みをもたらず水のように

私も人や自然からもらったものをまた人や自然に還していきたいなあ...



ジョセフ・コーネル に会える日。



2016
Nature Game
30th
ANNIVERSARY
ネイチャーゲーム普及30周年

日本でネイチャーゲームが普及して30年。
この秋、その創始者であるジョセフ・コーネル氏が5年ぶりに来日します。彼は現在、五感を使ったアウトドア・エクササイズ「ネイチャーゲーム」を提唱し、またオーガニックやヨガをはじめとした「自然と調和した暮らし」を実践するナチュラルリストとして、世界的な注目を集めています。この来日では、地球と子どもたちのためにできることは何か～ネイチャーゲームの視点で考えるトークセッションや、新刊書籍の魅力をいち早く紹介する対談など、多彩なイベントを予定しています。ジョセフ・コーネル氏の生の声を聞くチャンスをお見逃しなく！

10/4 (火) 18:00~20:30 「子どもの生きる力を育む 自然体験活動」シンポジウム

会場：東京大学 弥生講堂一条ホール(文京区本郷7-3-1)
参加費：一般 3,000円、会員 2,800円、学生 2,500円
定員：300名(先着順)

10/6 (木) 19:00~21:00 竹村真一 × ジョセフ・コーネル 対談 「空と地球が私に触れた」



会場：3x3Lab Future
(千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・JXビル1階)
参加費：一般 2,000円、会員 1,800円、学生 1,500円
定員：80名(先着順)

お申込・お問合せ
30@naturegame.or.jp
電話でも受付しています 03-5363-6010

ジョセフ・コーネル新刊本
「The Sky and Earth Touched Me」
日本語版が、まもなく発売予定！



2016 空を見上げよう

第11回 全国一斉シェアリングネイチャーの日



空の色、音、においを感じて、自然とつながろう。

楽しみ方
①まず空を見上げる
②次に色、音、風、においを感ずる
③さいごに深呼吸する

開催日 2016年10/16 (日)
時間 いつでも
場所 どこでも

投稿して、体験をシェアしよう！
Facebook facebookコミュニティ「全国一斉シェアリングネイチャーの日」
Instagram ハッシュタグ「#空を見上げよう2016」

<http://www.naturegame.or.jp/>



スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。
www.toto-growing.com ©19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁止されています。払戻金も受け取れません。運営・販売・独立行政法人日本スポーツ振興センター

2001

30周年記念 課程認定校の仲間たち

認定校制度がスタートしたのは、2001年。アメリカで航空機を用いた同時多発テロが起き、イギリスでは口蹄疫が発生するといった、心痛む事件が続いた年でした。日本でもバブル崩壊以降続いた就職氷河期がもつとも厳しかった時代。即戦力の技術をつけようと、大学生がさまざまな資格取得をする流れが生まれた時期です。そのようななか、小中学校や幼稚園の教員養成校を中心にネイチャーゲーム課程認定校が生まれていきました。

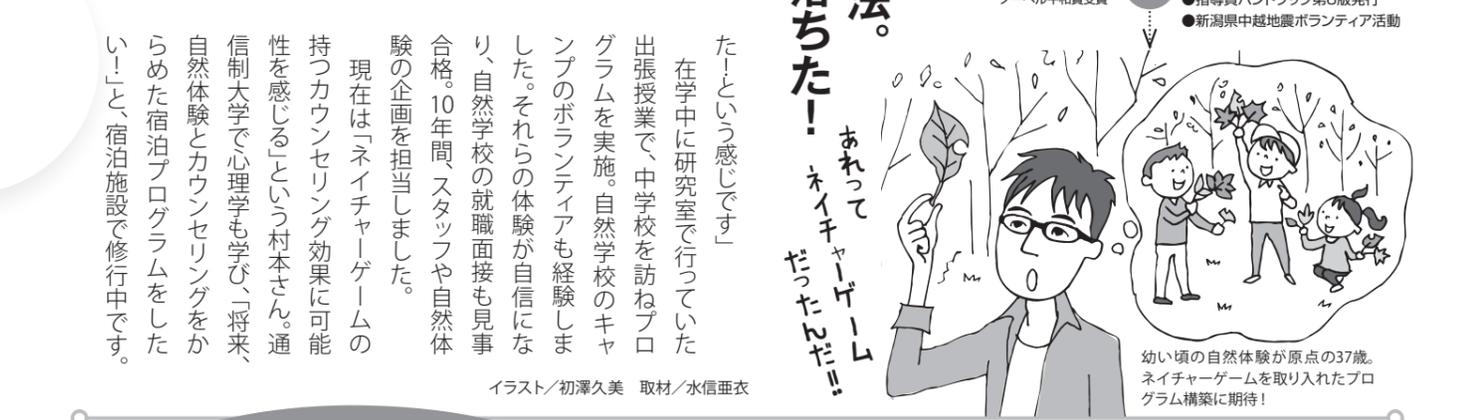
大学での授業で学んだ
ネイチャーゲームの理念や手法。
子どものときの体験が、腑に落ちた！

村本真洋さんが在学していた東京農業大学の森林総合科学科もそのひとつ。子ども時代に自然学校のキャンプに参加し、将来は自分もスタッフをしたいと勉強していた村本さんにとって指導員の資格取得ができる授業をとるのはごく自然な流れ。こうして、ネイチャーゲームの理念やフロローニングの手法を学ぶことになりました。

「子ども時代には、単に自然のなかで遊ぶという印象だったんですが、学ぶにつれてその奥の深さを知りました。そして以前の体験とつながって、腑に落ちた」と感じています。

在学中に研究室で行っていた出張授業で、中学校を訪ねプログラムを実施。自然学校のキャンプのボランティアも経験しました。それらの体験が自信になり、自然学校の就職面接も見事合格。10年間、スタッフや自然体験の企画を担当しました。

現在は「ネイチャーゲームの持つカウンセリング効果に可能性を感じる」という村本さん。通信制大学で心理学も学び、「将来自然体験とカウンセリングをかねた宿泊プログラムをしたい」と、宿泊施設で修行中です。



アンケートが投稿しやすくなりました

Present

アンケートに答えて
シェアリングネイチャー
グッズをゲットしよう

アンケートは...
◆HPトップページから
<http://www.naturegame.or.jp/>
◆メール・FAXでも
sasaki@naturegame.or.jp
FAX 03-5363-6013
メール・FAXの場合は下記をご記入ください
【アンケート項目】
1. お名前 2. ご住所(会員番号) 3. 本誌の評価(A.とても良い/B.良い/C.普通/D.良くない) 4. 良かったコーナー 5. プレゼント希望(①/②/③) 6. ご意見・ご要望

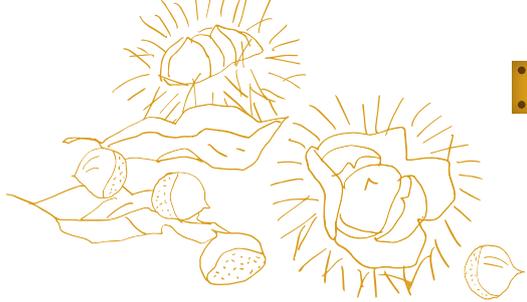
応募締め切り:2016年10月15日

① 泥染め手ぬぐい 2名様
特集で取材をした奄美大島「金井工芸」の泥染め手ぬぐい。大島紬で有名な「龍郷柄」の基となった「スミ千代柄」が今風にデザインされています。
2,160円(金井工芸)

② 泥染めストール 2名様
本誌ライターが奄美で染めました！濃い目の仕上がりのため、年を経る変化する「色」を楽しめる。黒(藍×泥)と茶(泥)の2色。どちらが届くかお楽しみに。
綿100%/70×180cm(編集部)

③ ジョセフ・コーネル講演会 ご招待 3名様
10月4日(火)18時~東京大学で行われる、ジョセフ・コーネルの講演会にご招待。明日の理科教育をつくる会・日置塾主催/3,000円(当協会)

「金井さん」で本誌ライターが染めました!!
「この女様がなんとも奄美なのだ」
「洗い茶色と藍色が秋らしい~男性にも女性にも!」
「秋の後に「奄美の自然」をアラス!」
「コーネルさんに会える!!」
「教育・自然に関心のある方におススメ!」



紅葉が落葉し、色を失っていくまでの静かな季節。肌の感覚もひとつになりたくて、じゃれて遊べば、大地の一部になったよう。

いろいろな
いろが
ある世界



庭を掃くのがもったいなくて、
ついつい落ち葉遊び。



なんにもしない アウトドア



11月生まれということもあって秋が好きだ。
街にも、色が弾けるこの季節。
山肌は、赤、緑、黄、橙の
色粒の点描画で埋められる。
同じようにみえて、それぞれ違う色たちは
「みんな同じ色じゃなくっていい。
世界にいろいろな色があることが美しい」と
すべてを受け入れ、愛おしく思う心をくれる。

秋も深まり、地面に散る葉の
土に還るまでの変化の彩り。
平安のひとつとは、それを「朽葉色」と表現した。
青朽葉色、黄朽葉色、赤朽葉色、薄朽葉、濃朽葉など
「朽葉四十八色」というほどに
繊細な色名があったそうだ。

落葉でも、枯葉でもない「朽葉」という呼び名。
腐ることや終わることと似た意味の
「朽ちる」だけれど
どこか、この言葉のなかには
命の意志が宿されている気がする。
古の人のように、自然の色のこころを感受できたら
世界はどんな風に見えるだろう。
そして、私は生涯で
いくつの色を美しく作りだすことができるだろうか。
朽ちゆく葉に、歳を重ねる楽しさを教えてもらった。

Yuri Yosumi profile

白百合女子大学卒。執筆、講演、ウエア開発を通し、「大自然と自分らしいスタイルでつながりたい」というメッセージを発信。山スカートの先駆者、着物着付け師としての顔ももつ。現在、フリーペーパー『山歩みち』などで連載中。著書に『一歩ずつの山歩き入門』他がある。



My Collaboration

『四角友里 色あわせカード』

自然の中にある色を探して楽しむカード。四角友里トークショーで配布中！購入は「ネイチャーゲームショップ」で。



設置店募集！

ご連絡ください！

シェアリングネイチャーライフ Vol.14

通巻 95号

発行日 2016年9月15日

発行人 西澤信雄

発行所 公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会

〒160-0004

東京都新宿区四谷4-13-17ワークスナカノ2階

Tel. 03-5363-6010 Fax.03-5363-6013

http://www.naturegame.or.jp/

jimukyoku@naturegame.or.jp

編集：佐々木香織、水信亜衣、伊東久枝

デザイン・DTP：花平和子

表紙イラスト：矢原由布子

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。

スポーツくら



スポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています